



ほけんだより



第67号

平成18年6月

子育て施設課

アトピー性皮膚炎

近年、アレルギー疾患の増加が指摘されています。

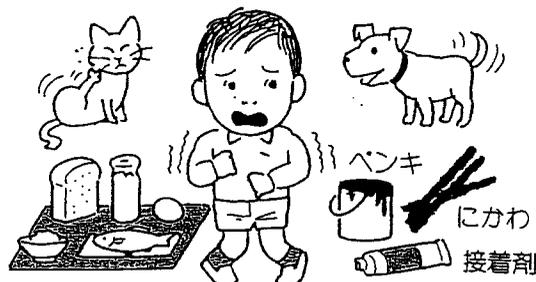
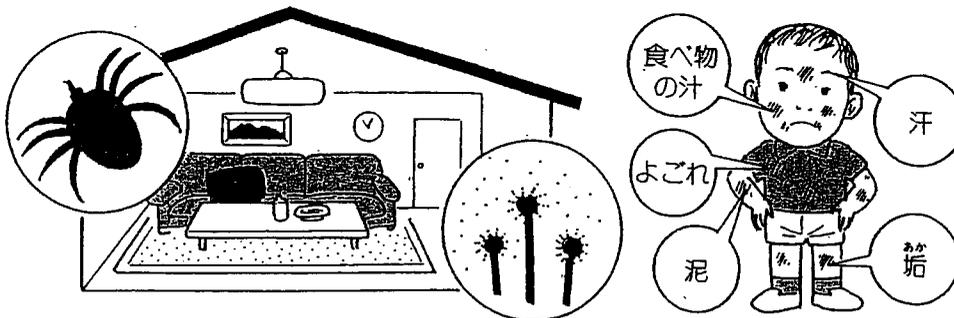
子どもの皮膚病の中で一番多いのがアトピー性皮膚炎といわれ、乳児期から幼児期にかけ発症するのが大多数を占めています。

「アトピー」という言葉は、「不思議な」「奇妙な」という意味のギリシャ語です。

《 原因は 》

1. アトピーになりやすいアレルギー体質があげられます。さらにその人の皮膚が弱かったり、過敏だったりします。そこに気候の変化や体調の悪化などの刺激が加わると発症します。
2. 原因になるアレルゲン（アレルギーの原因となる抗原物質）の多くは、ダニをはじめとした室内のほこりや花粉です。卵、ミルク、大豆などの食物が原因になることもあります。
3. 汗や垢、食べ物の汁などでの汚れ、衣類などが刺激になって症状がひどくなることがあります。

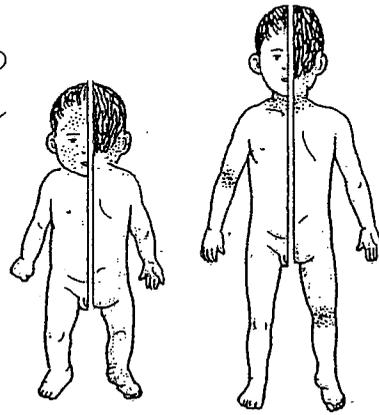
以上のように数多くの要因が関係しています。



《 特 徴 は 》

乳児期……顔、頭にみられます。特に頭の湿疹では、厚いかさぶたが付着していることがあります。

幼児期……乳児に比べ皮膚は乾燥傾向を示し、首、肘のうら、膝のうらなどが、カサカサとした湿疹となります。



乳児 幼児
(年齢により症状が変わります)

☆ かゆみが強いため、かきむしり、次第に皮膚が肥厚します。

☆ アトピー性皮膚炎の子どもの皮膚は、全体に乾燥しやすく外部の刺激にも弱くなります。

《 日 常 生 活 で の 注 意 事 項 》

☆ 入 浴

1. できるだけ毎日入浴しましょう。
2. 湯は、かゆみを起こさないように少しぬるめの温度にしましょう。
3. 香料や刺激性の少ない石けんを使用して柔らかいガーゼで洗いましょう。
4. 石けんは十分に洗い流しましょう。



爪は短く
いつも洗いに

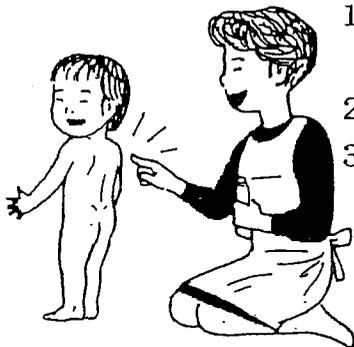
☆ 爪をきれいに

1. かゆくて引っかくことは、湿疹を悪化させます。

☆ 夏場は『とびひ』に注意しましょう。



《 治 療 》



1. かゆみが強い場合は、ステロイド系外用薬が用いられますが、使い方を誤ると副作用の危険性があります。
2. 困っていることは医師によく相談しましょう。
3. 薬についてもよく説明を受けましょう。

『今のところ決め手になる治療法はありません。かゆみなど症状を抑えて、上手にアトピー性皮膚炎につきあうことが大切です』